

第54期第2四半期(2025年5月期) 決算説明資料

2025年1月14日
タケダ機械株式会社
証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2025年5月期第2四半期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、％表示は対前年度又は対予想値との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
売 上 高	2,578	2,582	△4	△0.2%
営 業 利 益	286	342	△55	△16.3%
経 常 利 益	294	354	△59	△16.8%
(親会社株主に帰属する) 中 間 純 利 益	196	226	△30	△13.3%

	当年度 実績値	当年度 予想値	対予想値との差異	
売 上 高	2,578	2,760	△181	△6.6%
経 常 利 益	294	310	△15	△5.0%

【対前年度との差異における主な要因】

＜売上高、各段階利益の減少＞

設備投資の抑制傾向

→建築物・鋼構造物に係る鋼材価格、人件費等の上昇、人手不足による建設計画の見直しや工期遅延の影響

底堅い堅調な内需の見込み

→都市部の鋼構造物、国土強靱化基本計画によるインフラ補強、物流倉庫・データセンター等

【対予想値との差異における主な要因】

＜売上高の減少＞

設備投資の抑制傾向から計画が後倒しへ

＜経常利益の微減＞

下期の納入案件に対応する操業の確保
→売上高の減少影響を抑制

2025年5月期第2四半期の決算概要 (連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
流 動 資 産	5,214	5,448	△234	△4.3%
固 定 資 産	2,451	2,463	△11	△0.5%
(有形固定資産)	(1,840)	(1,883)	(△43)	(△2.3%)
(無形固定資産)	(82)	(60)	(+22)	(+36.9%)
(投資その他)	(528)	(519)	(+9)	(+1.9%)
資 産 計	7,666	7,911	△245	△3.1%

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

【流動資産】

(増加の主な要因)

- ・受取手形及び売掛金 +389
- ・棚卸資産 +139

(減少の主な要因)

- ・現金及び預金 △774

【固定資産】

(増加の主な要因)

- ・無形固定資産 +22

(減少の主な要因)

- ・建物及び構築物 △13
- ・繰延税金資産 △5

2025年5月期第2四半期の決算概要

(連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
負 債	2,549	2,912	△362	△12.4%
(流 動 負 債)	(1,855)	(2,088)	(△233)	(△11.2%)
(固 定 負 債)	(694)	(823)	(△129)	(△15.7%)
純 資 産	5,116	4,999	+117	+2.3%
(株 主 資 本)	(5,084)	(4,961)	(+122)	(+2.5%)
(包 括 利 益)	(32)	(37)	(△5)	(△14.9%)
負債・純資産計	7,666	7,911	△245	△3.1%

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

【負債】

(増加の主な要因)

- ・支払手形及び買掛金 +31

(減少の主な要因)

- ・未払法人税等 △121
- ・長期借入金 △98
(1年内返済予定の長期借入金含む)
- ・賞与引当金 △22

【純資産】

(増加の主な要因)

- ・利益剰余金 +122

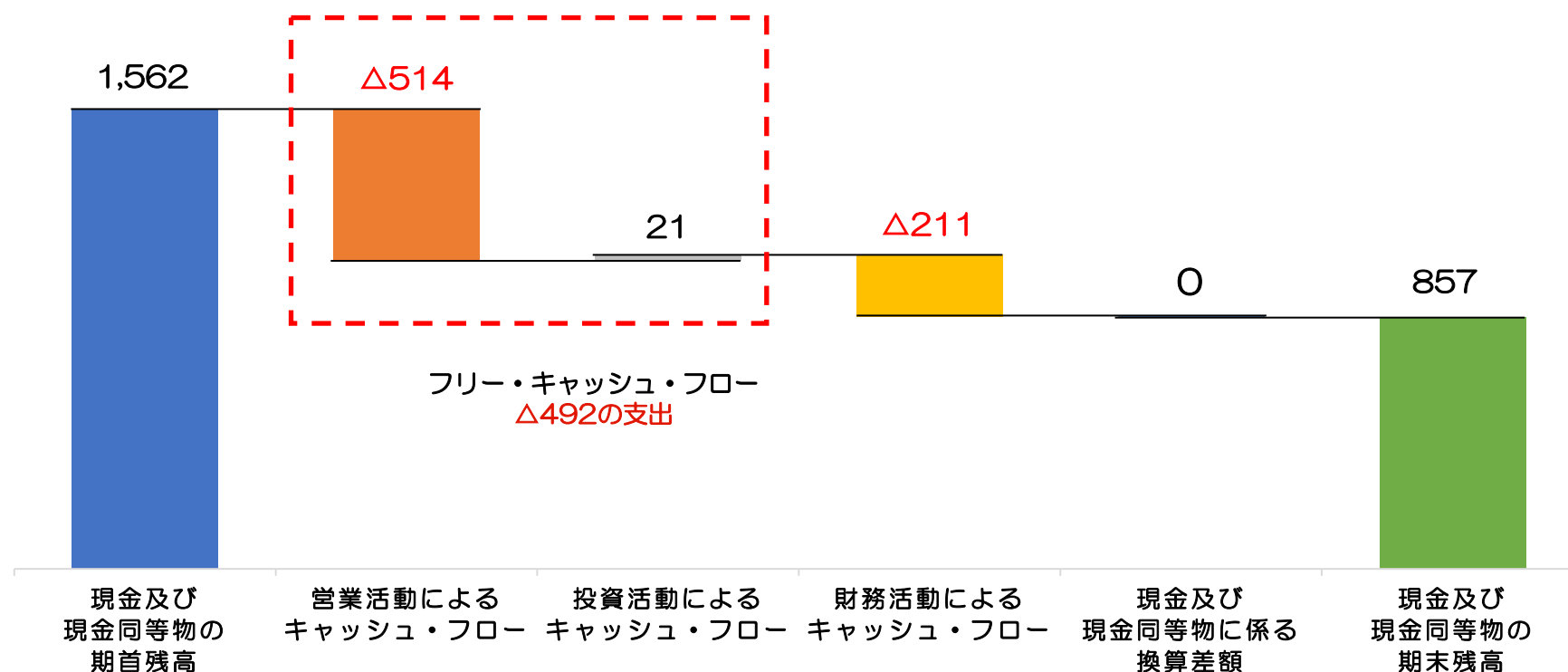
(減少の主な要因)

- ・その他有価証券評価差額金 △5

2025年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当第2四半期における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

2025年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期 首 残 高	1,562	601		
営 業 活 動 に よ る C F	△514	374	△888	—
投 資 活 動 に よ る C F	21	0	+21	—
財 務 活 動 に よ る C F	△211	△100	△111	—
換 算 差 額	0	△0	+0	—
期 末 残 高	857	875		

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。
2. 右記に記載の内容は、対前年度との差異についての記載であります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・ 棚卸資産の増減額 +201

(減少の主な要因)

- ・ 売上債権の増減額 △628
- ・ 法人税等の支払額 △143
- ・ 仕入債務の増減額 △100
- ・ 税金等調整前中間純利益 △62
- ・ 賞与引当金の増減額 △14

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・ 定期預金の支出入 +29

(減少の主な要因)

- ・ 保険積立金の解約収入 △9

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

(減少の主な要因)

- ・ 短期借入金の支出入 △100
- ・ 配当金の支払額 △17

2025年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移及び当期の業績予想数値					当期 第2四半期
	2021年	2022年	2023年	2024年	※当期予想	
売 上 高	3,500	4,444	4,689	5,464	5,500	2,578
経 常 利 益	178	409	416	659	600	294
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	118	260	316	427	390	196

※2024年7月16日付
公表の予想数値

【当期の見通しについて】

(プラス要因)

底堅い継続的な内需

- ・都市部の鋼構造物プロジェクト
- ・国土強靱化基本計画によるインフラ需要
- ・物流倉庫、データセンター等の建設

(マイナス要因)

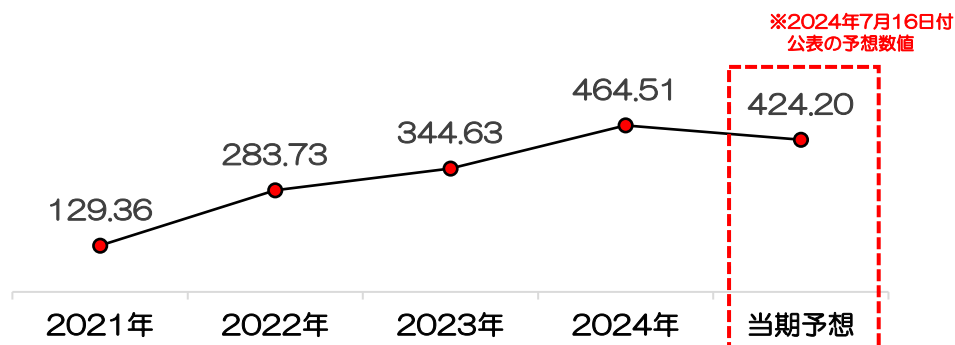
2024年問題(建設、運輸分野)

- ・工期遅延、設備投資の停滞、コスト増
- #### 長期金利の上昇
- ・中小企業の負担増→設備投資の抑制
- #### 製造コストの負担、不安定な為替相場
- ・鋼材価格の高止まり、エネルギー価格の上昇、物価の上昇

2025年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)②

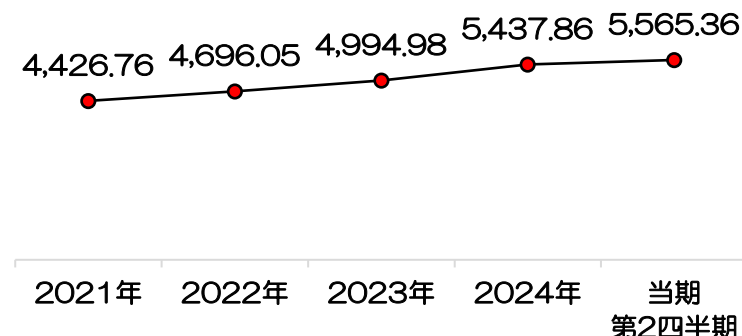
1株当たり当期純利益

(単位：円)



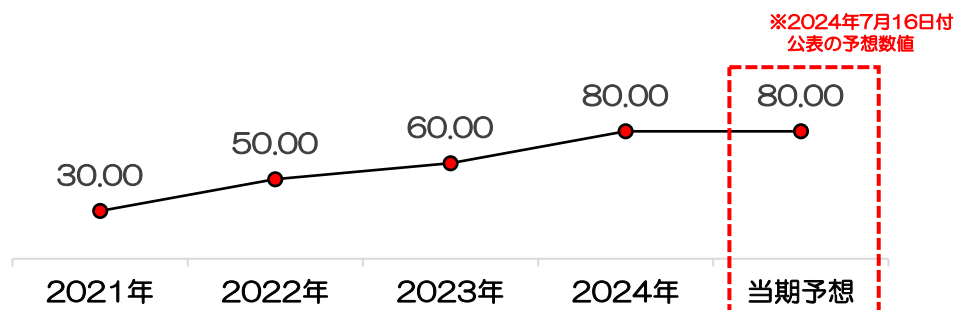
1株当たり純資産

(単位：円)



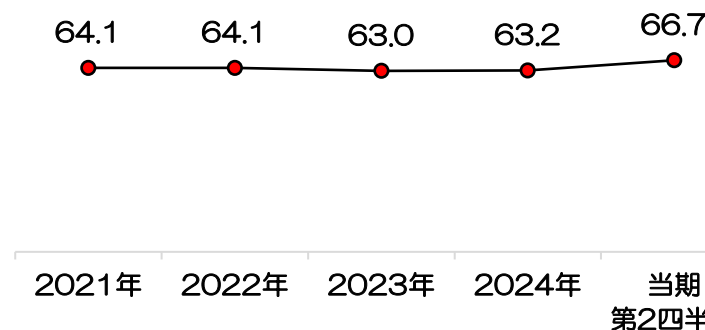
1株当たり配当金

(単位：円)



自己資本比率

(単位：%)



2025年5月期第2四半期の決算概要 (直近の現金及び現金同等物の推移)

(単位：百万円未満切捨て)

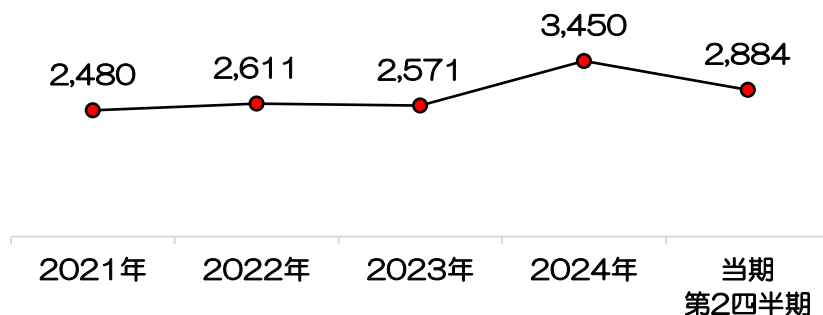
	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2021年	2022年	2023年	2024年	当期 第2四半期
期 首 残 高	465	266	872	601	1,562
営業活動による キャッシュ・フロー	△138	991	△82	1,267	△514
投資活動による キャッシュ・フロー	8	△63	△71	△108	21
財務活動による キャッシュ・フロー	△67	△321	△116	△197	△211
換 算 差 額	△0	△1	△0	△0	0
期 末 残 高	266	872	601	1,562	857
フリー・キャッシュ・ フロー	△130	927	△154	1,158	△492

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

2025年5月期第2四半期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

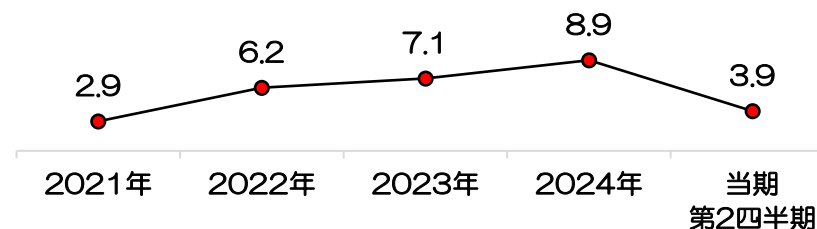
期末日の株価

(単位：円)



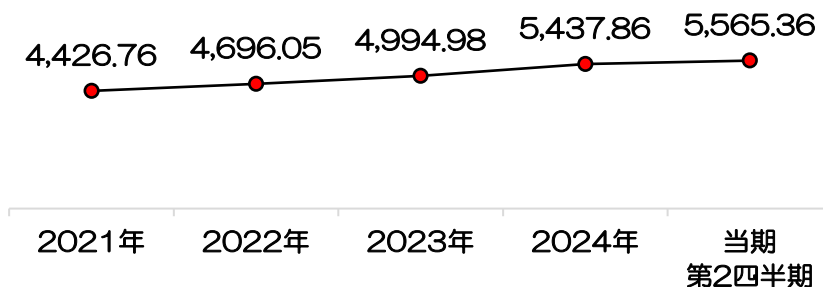
自己資本当期純利益率

(単位：%)



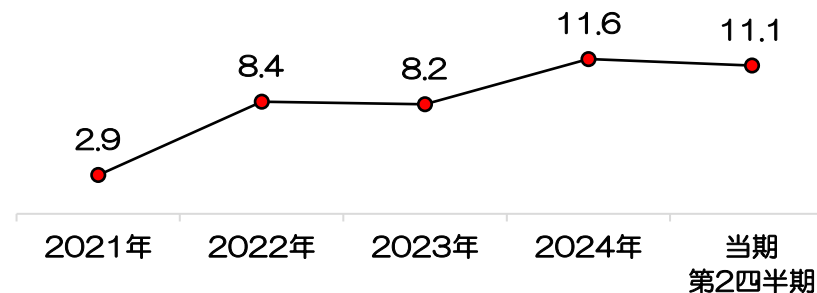
※(参考) 1株当たり純資産

(単位：円)



売上高営業利益率

(単位：%)



HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に応える加工システムをご提案します。